

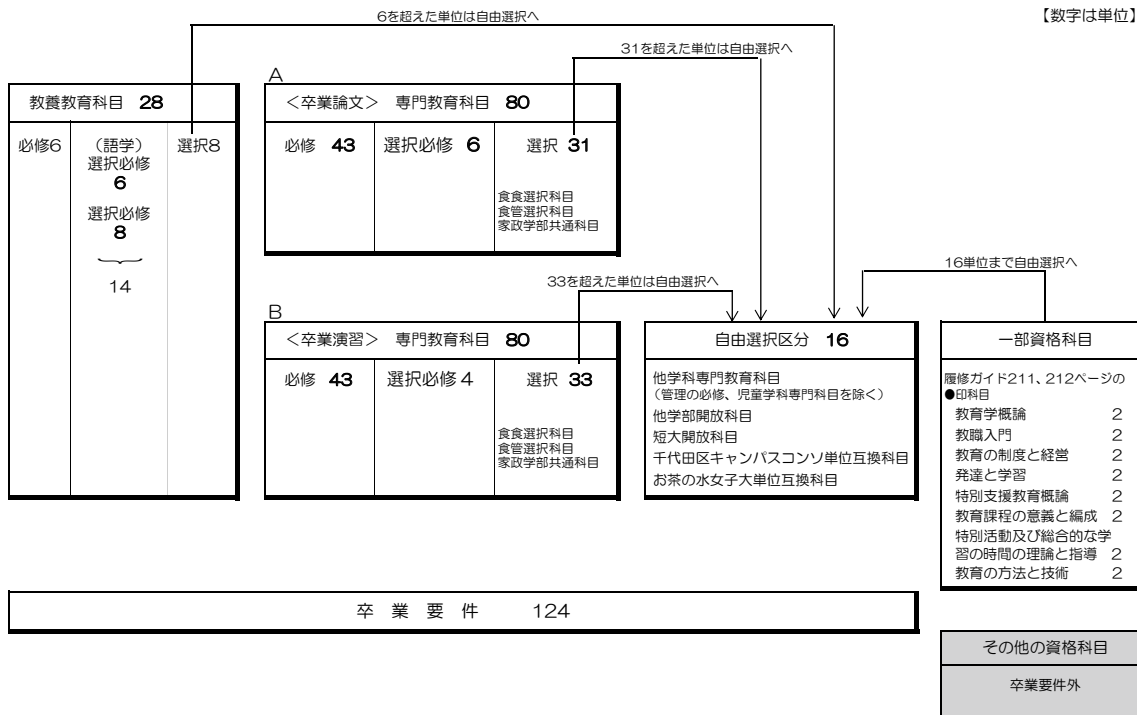
授 業 科 目		年 次	単 位	卒業要件	フード スペシャリスト 受験資格	教職 課程 「家庭」	学芸員 課 程	備 考
食文化・ 食産業領域	食文化概論	1	2	◎	◎	◎	○	
	食物史	2	2				○	他学部開放科目
	食器論	2	2				○	
	比較食文化論	3	2				○	他学部開放科目
	食物特別講義	3	2		◎			
	食料経済	2	2		◎	○		
	製品開発論	3	2		◎			
主題 研究領域	★ 卒業論文	4	6	○ 6or4				重複履修不可
	★ 卒業演習	4	4					
必修科目 (◎)				43				
選択必修科目 (○)				6 or 4				
選択科目				31or33				
学科専門教育科目			合計	80				

教職資格 関連	家庭経営学 I	1	2			◎		
	家族関係学	1	2			◎		
	被服学概論	1	2			◎		
	被服造形学実習（教職） I	2	1			◎		
	被服造形学実習（教職） II	2	1			◎		
	住居学概論	1	2			◎		
	保育学	3	2			◎		

※教職資格の全要件とその他の資格については、「Ⅲ諸資格」205 ページ~を参照してください。

修得単位の流れ方 <24AB 食物学専攻>

★kyonetでは、自由選択区分の単位数全てが表示できません。
☆説明をよく読んで計算をしてください。



授業科目	年次	単位	卒業要件	教職課程		備考	
				「家庭」	「栄養教諭」		
専門分野	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2	2	○	○	
		臨床栄養学Ⅱ	2	2	○		
		臨床栄養学Ⅲ	3	2	○		
		臨床栄養学Ⅳ	4	2	○		
		臨床栄養学実験	3	1	○		
		臨床栄養学実習	4	1	○		
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2	2	○		
		公衆栄養学Ⅱ	2	2	○		
		公衆栄養学実習	4	1	○		
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ（給食計画・実務論を含む）	2	2	○		
		給食経営管理論Ⅱ	2	2	○		
		給食経営管理実習Ⅰ	2	1	○		
		給食経営管理実習Ⅱ	3	1	○		
	総合演習	総合演習Ⅰ	4	1	○		
総合演習Ⅱ		4	1	○			
実臨習地	★ 臨地実習Ⅰ（校外実習）	3	1	○			
	★ 臨地実習Ⅱ	3・4	3	○			
主題研究	★ 卒業論文	4	6	○		重複履修不可	
	★ 卒業演習	4	4	6or4			
必修科目			90				
選択必修科目			6 or 4				
選択科目			4 or 6				
学科専門教育科目			合計 100				

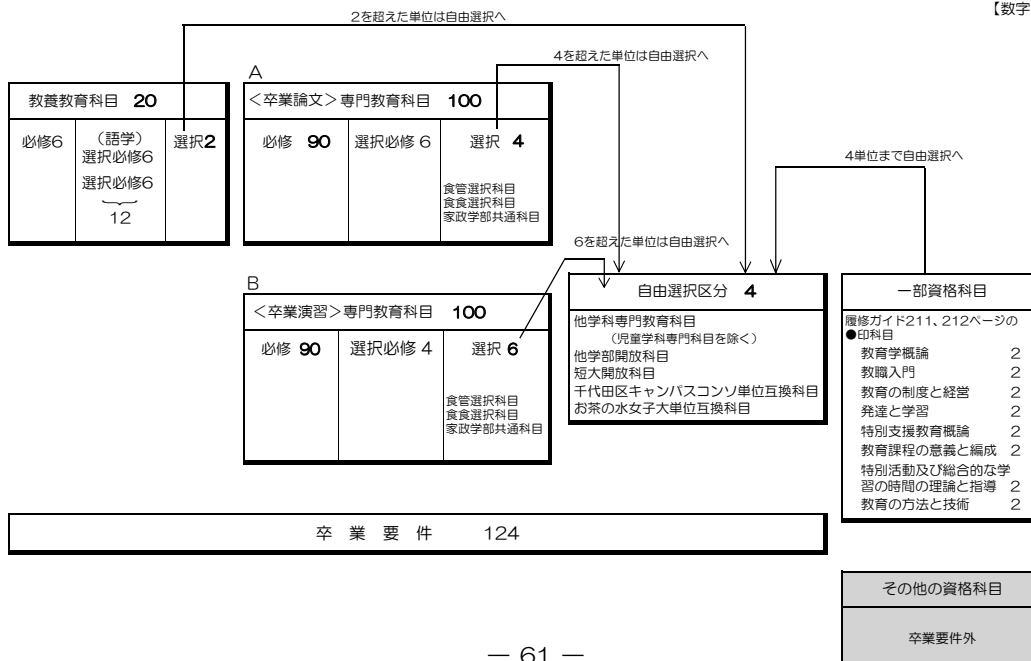
教職資格関連	単位数	単位	卒業要件	備考
家庭経営学Ⅰ	1	2	○	
家族関係学	1	2	○	
被服学概論	1	2	○	
被服造形学実習（教職）Ⅰ	2	1	○	
被服造形学実習（教職）Ⅱ	2	1	○	
住居学概論	1	2	○	
保育学	3	2	○	

※教職資格の全要件については、「Ⅲ諸資格」205ページ~を参照してください。

修得単位の流れ方 <24AB 管理栄養士専攻>

★kyonetでは、自由選択区分の単位数全てが表示できません。説明をよく読んで計算をしてください。

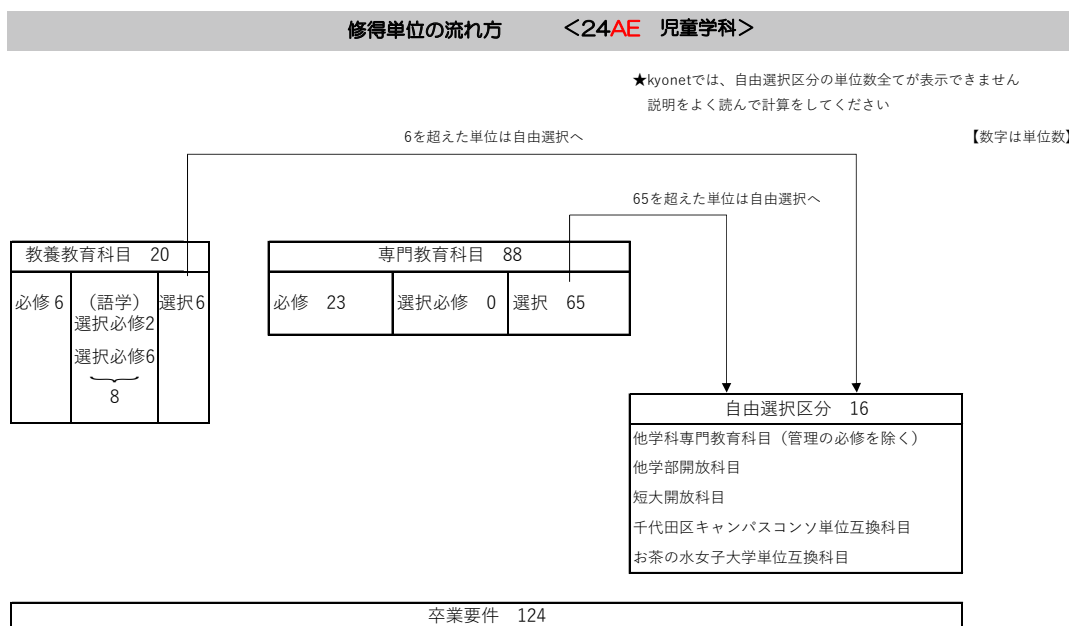
【数字は単位】



授 業 科 目		年 次	単 位	卒業要件	小一種免	幼一種免	保育士	
関 連	幼稚園教育実習Ⅰ（事前事後指導）	2	1			◎		
	幼稚園教育実習Ⅱ（事前事後指導）	3	1			◎		
	小学校教育実習（事前事後指導）	3	1		◎			
	幼稚園教育実習Ⅰ	2	2			◎		
	幼稚園教育実習Ⅱ	3	2			◎		
	小学校教育実習	4	4		◎			
	国語科教育	2	2		◎			
	社会科教育	2	2		◎			
	算数科教育	2	2		◎			
	理科教育	2	2		◎			
	家庭科教育	2	2		◎			
	初等教科教育法（国語）	3	2		◎			
	初等教科教育法（社会）	3	2		◎			
	初等教科教育法（算数）	3	2		◎			
	初等教科教育法（理科）	3	2		◎			
	初等教科教育法（生活）	3	2		◎			
	初等教科教育法（音楽）	3・4	2		◎			
	初等教科教育法（図画工作）	3・4	2		◎			
	初等教科教育法（家庭）	3・4	2		◎			
	初等教科教育法（体育）	3	2		◎			
	初等教科教育法（外国語）	3	2		◎			
	道徳の指導法	3	2		◎			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3	2		◎			
	生徒・進路指導の理論と方法	2	2		◎			
	児童英語	2	2		◎			
	教育とICT活用	2	1		◎			
必修科目				23				
選択必修科目				0				
選択科目（家政学部共通科目・児童学科専門教育科目）				65				
専門教育科目				合計	88			

- ◎は必修科目
- は選択必修科目

※各資格の詳細は、「Ⅲ. 諸資格」205 ページ～の「3. 小学校教諭一種免許状」、「4. 幼稚園教諭一種免許状」「12. 保育士」を参照してください。



5. 卒業論文・卒業制作・卒業演習・卒業研究

卒業論文、卒業制作および卒業演習は被服学科、食物栄養学科の選択科目、卒業研究は児童学科の必修科目です。ただし、被服学科にあっては、前記3科目中いずれか1科目を、食物栄養学科においては卒業論文又は卒業演習のどちらか1科目を選択しなければなりません。

卒業論文、卒業制作、卒業演習および卒業研究の指導は原則として専任教員が担当します。

〔1〕卒業論文（被服学科 食物栄養学科）

- (1) 卒業論文を希望する場合、被服学科、食物栄養学科にあっては卒業論文等の募集のお知らせ（3年次の11月上旬）に従い、3年次の12月20日（20日が休日の場合はその前日、以下同じ）までに「卒業論文課題届」を教務課に提出してください。
- (2) 卒業論文の大きさは原則としてA4判とし、枚数は担当教員の指示に従ってください。
装幀は長期の保存に耐えられるようにし、表紙は厚紙を用い、提出年度、指導教員名、題目、所属、学籍番号、氏名を明記してください。
- (3) 提出期限は4年次の1月末日午後4時（土曜日は正午）までとし、提出先は指導教員の研究室とします。

〔2〕卒業制作（被服学科）

卒業制作を希望する場合は、上記(1)に準じ、3年次の12月20日までに「卒業制作課題届」を**教務課**に提出してください。

作品の提出期限は4年次の1月末日、午後4時（土曜日は正午）までとし、提出先は指導教員の研究室とします。

〔3〕卒業演習（被服学科 食物栄養学科）

卒業演習を希望する場合は募集のお知らせ（3年次の11月上旬）に従い、3年次の12月20日までに「卒業演習課題届」を**教務課**に提出してください。

〔4〕卒業研究（児童学科）

卒業研究については、3年次の12月20日（20日が休日の場合はその前日、以下同じ）までに「卒業研究課題届」を**教務課**に提出してください。

提出についての詳細は別途指示があります。

[6] 専門・選択科目に含めることができる科目

建築・デザイン学部

- (1) 各コースの専門教育科目のうち、選択必修単位を超えて修得したもの
- (2) 選択必修科目以外の専門教育科目
- (3) 文芸学部開放科目（178 ページ）
- (4) 学生交流協定による認定科目（千代田区キャンパスコンソにおける単位互換制度、との単位互換）

大学・短大の単位互換制度、千代田区キャンパスコンソ単位互換制度、との単位互換制度について

~~本学部における授業科目の履修とみなし、単位認定を行います。卒業要件に算入されない科目もあります。詳細は、教務課までご相談下さい。~~

~~建築・デザイン学部~~

○大短単位互換制度による卒業要件単位への算入はしない

○千代田区キャンパスコンソ、との単位互換については、12 単位まで（選択できる科目及び算入区分の指定あり）

4. 教育課程（カリキュラム）および履修方法

1. 教育課程（カリキュラム）表の見方

・卒業要件の欄の単位数は、卒業に必要な最低の単位数を示しています。

必修科目……卒業要件欄に1科目ごと横線で区切られ、単位数（または◎）が記入されています。

選択必修科目…卒業要件欄に2科目以上にわたる欄の中央に単位数（または○）が記入されています。

・授業科目には、年間を通して実施されるもの（通年開講）の他、前期または後期だけで完結するもの（半期科目）、短期間に集中して授業を実施するもの（集中講義）などがあります。

・表の記号は下記の意味を表します。

区 分	記 号	記号の意味
資格要件	◎	資格必修
	○	資格選択

諸資格取得に必要な単位についての詳細はⅢ. 諸資格（205 ページ～）を参照してください。

2. 外国人留学生の外国語の履修方法について

- (1) 外国人留学生は、原則として母語・母国語を外国語科目として履修できない。
- (2) 教養教育科目の「基礎日本語」と「応用日本語」（各2単位、いずれも留学生のみ対象）を語学の卒業要件8単位に含めることができる。
- (3) その他の語学単位については、従来の規定通りとする。

$$\frac{(\text{科目の成績評点 [GP]} \times \text{単位数}) + (\text{科目の成績評点 [GP]} \times \text{単位数}) + \dots}{\text{登録科目の総単位数 (「D」「X」の単位数も含む)}}$$

※「P（認定）」は、計算式に含まれません。

※不合格科目（D 評価）や放棄科目（X 評価）は、計算式に含まれます。

③GPAは **kyonet** の成績照会から確認できます。成績証明書には通算GPAが記載されます。

※GPA 計算はGPA 計算期日（前期は9月中旬、後期は2月中旬）までに確定した成績に基づいて計算されます。

④GPAの活用について

1) GPAが低い学生に対しては、次の対応を行います。

- a. 学期のGPAが1.4以下となった学生に対しては、本人を呼び出し、アカデミック・アドバイザーによる注意と指導を行います。
- b. 学期のGPAが2学期連続1.4以下を、または在学期間のうち、3学期分がそれ以下となった学生に対しては、本人および保証人（保護者等）を呼び出し、アカデミック・アドバイザーによる注意と指導を行います。
- c. 学期のGPAが3学期連続1.4以下を、または在学期間のうち、4学期分がそれ以下となった学生に対しては、学生の状況に応じ、成業の見込みを教授会で審議の上、退学を勧告する場合があります。
- d. 1年次から2年次の進級については、1年次終了時に1年以上在学し、通算GPAが0.6以上であることを条件とします。

2) GPAが高く、学業が特に優秀と認められる学生に対しては、教授会で審議の上、表彰を行うことがあります。

⑤履修中止制度について

履修登録をしたものの、授業内容が学修したいものと異なっていたり、授業を理解するための基礎知識が不足していることなどの理由により、履修を継続することが難しく、単位の修得が困難であると考えられる場合、不合格となることでGPAが下がることを回避するために、履修中止制度が設けられています。

履修中止は、授業開始4週目経過後に、本人が所定の手続きにより申請し、**担任**（アカデミック・アドバイザー）に履修相談をしたうえで認められた場合のみ履修中止ができ、科目の登録が取り消されます。

前期は、前期開講科目と通年科目、後期は、後期開講科目が履修中止の対象となります。ただし、必修科目および学部・学科で中止不可科目として指定した科目は履修中止対象外となります。

履修中止を行わず、学期途中で履修を放棄した場合は不合格となります。不合格後に履修中止を行うことはできません。

<英語> 中学校一種・高等学校一種共通

(文芸学部)

免許法施行規則に定める区分	中一種	高一種	本学設置科目	年次	単位	資格取得要件
英語学	1～	1～	英語学概論	1	2	2
			英語学各論	2	2	
			英語学論	3	2	
英語文学	1～	1～	イギリス文学文化概論	1	2	2
			アメリカ文学文化概論	1	2	
			イギリス文学文化各論	2	2	
			アメリカ文学文化各論	2	2	
			イギリス文学論	3	2	
			アメリカ文学論	3	2	
英語コミュニケーション	1～	1～	英語リスニング演習 A (ベーシック)	1.2.3.4	1	1
			英語リスニング演習 B (ステップアップ)	1.2.3.4	1	
			英語スピーキング演習 A (ベーシック)	1.2.3.4	1	
			英語スピーキング演習 B (ステップアップ)	1.2.3.4	1	
			英語ライティング演習 A (ベーシック)	1.2.3.4	1	
			英語ライティング演習 B (ステップアップ)	1.2.3.4	1	
			英語プレゼンテーション演習	3	1	
			英語ディスカッション演習	3	1	
異文化理解	1～	1～	異文化間コミュニケーション各論 A	2	2	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	8	4	英語科教育の理論と方法 ※	3	4	4
			英語科教育の理論と実践 ※	3	4	4
法定上の最低必要単位数	28	24	本学設置科目の最低必要単位数			28

※「英語科教育の理論と方法」「英語科教育の理論と実践」は、同じ年度に履修してください。

※「英語科教育の理論と方法」及び「英語科教育の理論と実践」の単位を修得していることが、4年次の「教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む)」及び「教職実践演習 (中・高)」の履修登録の要件となります。

<情報> 高等学校一種

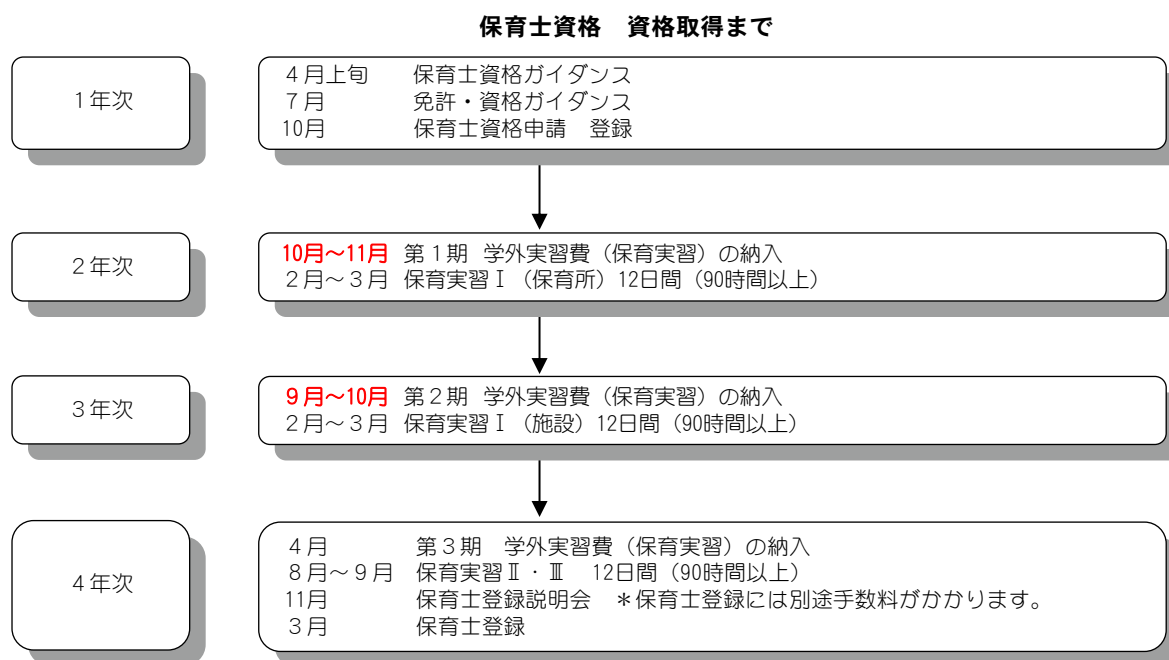
(文芸学部)

免許法施行規則に定める区分	高一種	本学設置科目	年次	単位	資格取得要件
情報社会 (職業に関する内容を含む)・情報倫理	1～	メディア社会論 A	3	2	2
		メディア社会論 B	3	2	
		文芸入門 D	1	2	
		メディア教育論	3	2	
		メディア産業論 A	3	2	
コンピュータ・情報処理	1～	データサイエンスと ICT の基礎	1	2	2
		コンピュータ科学	2	2	
		情報処理	1	2	
		プログラミング基礎実習	1	1	
情報システム	1～	情報システム論	2	2	2
		情報システム実習	3	1	
情報通信ネットワーク	1～	コンピュータネットワーク論	2	2	2
		コンピュータネットワーク実習	3	1	
マルチメディア表現・技術	1～	文芸メディア概論	1	2	3
		芸術メディア実習 A	2	1	
		芸術メディア実習 B	2	1	
		CG 基礎実習Ⅰ	1	1	
		CG 基礎実習Ⅱ	1	1	
		Web 基礎実習	1	1	
		DTM・オーディオ基礎実習	1	1	
		デジタルビデオ基礎実習	1	1	
		メディア応用実習 A	3	1	
		メディア応用実習 B	3	1	
		メディア応用実習 C	3	1	
		メディア応用実習 D	3	1	
メディア応用実習 E	3	1			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	4	情報科教育の理論と方法 ※	3	2	2
		情報科教育の理論と実践 ※	3	2	
法定上の最低必要単位数	24	本学設置科目の最低必要単位数			24

備考:「情報科教育の理論と方法」2単位と「情報科教育の理論と実践」2単位、他の区分の単位を10単位以上修得していなければ、「教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む)」(中・高同時取得者)、「教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)」(情報のみ取得者)及び「教職実践演習 (中・高)」を履修登録できません。

※「情報科教育の理論と方法」「情報科教育の理論と実践」は、同じ年度に履修してください。

12. 保育士



保育士は、児童福祉法第18条の4において「専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」とされています。

家政学部児童学科は、指定保育士養成施設としての指定を受けており、保育士資格を得るための要件は次のとおりです。

1. 本学家政学部児童学科に在籍し、保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行令および同法施行規則および保育士養成施設指定規則に定める授業科目および単位数を修得しなければなりません。保育士養成に関する細則は別に定めます。かつ、学則に定める卒業の要件をみたまなければなりません。
2. 本学における保育実習は下表のとおり実施します。

保育実習

実習種別	単位数	実習施設と日数	備考	
保育実習Ⅰ	1	事前事後指導（保育所）	30時間	
	1	事前事後指導（施設）	30時間	
	2	保育所	12日間（90時間以上）	6単位必修
	2	施設	12日間（90時間以上）	
保育実習Ⅱ	1	事前事後指導	30時間	
	2	保育所	12日間（90時間以上）	3単位選択必修
保育実習Ⅲ	1	事前事後指導	30時間	
	2	施設	12日間（90時間以上）	